

平成 20 年 2 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社 カルラ
 代 表 者 名 代表取締役社長 井 上 修 一
 (コード番号： 2789)
 問 い 合 わ せ 先 総務担当取締役 清 水 あ さ 子
 (TEL： 022 351 - 5888)

平成 20 年 2 月 期 通期業績予想及び期末配当予想の修正
 並びに特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向をふまえ、平成 19 年 10 月 12 日に発表いたしました平成 20 年 2 月 期 (平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当期は、第 3 四半期までに売却及び閉店を予定していた店舗について減損損失 46 百万円、退店損失 17 百万円の特別損失を既に計上しておりますが、平成 20 年 2 月 期末において減損を認識すべき 6 店舗について減損損失 150 百万円を追加計上いたします。以上により、通期の特別損失は 213 百万円を計上する見込となりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 20 年 2 月 期業績予想の修正 (平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	10,021	291	261	14
今 回 修 正 (B)	9,450	△97	△121	△430
増 減 額 (B - A)	△571	△388	△382	△444
増 減 率	△5.7%	—	—	—

(2) 修正理由

売上高につきましては、ポイントカード導入等の販売促進を積極的に行うとともに、旬の素材にこだわったメニュー開発や精米機の導入等商品力の強化に取り組んできましたがその効果が出るまでには時間がかかり、結果として前回予想より 5.7%減の 94 億 50 百万円 (前事業年度比 6.7%減)となる見込みであります。

この結果、売上総利益高が計画を下回り、さらに、売上回復のための販売促進コストが増加したこと、売上に対応した人事管理が不十分であったこと等により営業利益、経常利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、上記に加えあらたに減損損失を追加計上することにより 430 百万円の純損失となる見込みであります。

(3) ご参考：前期の実績（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通 期	10,127	311	323	85

3. 平成20年2月期 期末配当予想の修正

(1) 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期 末	年 間
前 回 発 表	—	15.00	15.00
今 回 予 想 修 正	—	10.00	10.00
増 減 額	—	△5.00	△5.00
前期実績(平成19年2月期)	—	15.00	15.00

(2) 修正理由

当社は、収益力を強化し株主の皆様に対する継続的かつ安定した配当を行うことを基本方針としております。しかし、上記のとおり、当事業年度における通期業績予想は厳しい状況にあるところから、平成20年2月期におきましては1株当たり15円00銭(年間配当金15円00銭)と発表しておりました期末配当予想を10円00銭(年間配当金10円00銭)に修正させていただきます。

以 上